

Embassy of Japan in Saudi Arabia

カントリーレポート ～サウジアラビア～

第48回中東協力現地会議

令和7年8月4日

駐サウジアラビア大使 森野泰成

1 サウジアラビア内政

- 2015年、サルマン国王就任(現89歳)。2017年、ムハンマド皇太子(Mohammad Bin Salman: MBS)兼副首相兼国防相就任(現39歳)。2022年、ムハンマド皇太子は行政のトップ(首相)に就任し、同時に実弟のハーリド王子が国防大臣に就任(現36歳)。異母兄のアブドルアジーズ王子はエネルギー相に2019年就任(現65歳)。
- ムハンマド皇太子は2016年、国家戦略「サウジ・ビジョン2030」を発表。豊富な石油資源(世界最大級の原油埋蔵量、石油生産量及び輸出量)による収入をベースに、国民の生活向上(メトロや高速道路の整備、住宅環境の改善(持家比率の向上)や娯楽・スポーツ振興、国内産業の育成、観光促進等)を図りつつ、石油依存からの脱却・経済多角化による国家発展を目指す。
- 課題は、国家財政が原油価格の変動に影響されやすい点(サウジの財政均衡価格は1バレル80~100ドルとされる)

サウジアラビア 基礎データ

国土	215万km ² ※日本の約5.7倍
人口(2024年)	3,530万人
GDP(2024年)	1兆85億米ドル
一人あたりGDP (2024年)	32,881米ドル
GDP実質成長率 (2024年)	1.3%

※-0.9%(2023年)、1.1%(2025年Q1)



2024年12月より稼働したリヤド・メトロ

サウジ・ビジョン2030の構成

1 活気に満ちた社会

観光振興、文化・娯楽・スポーツ振興、教育改革、ヘルスケアの拡充等

2 繁栄した経済

中小企業振興、女性の労働参画推進、公共投資基金の増資(1,600億ドル→2兆ドル以上)、軍事産業の育成再生、可能エネルギーの推進等

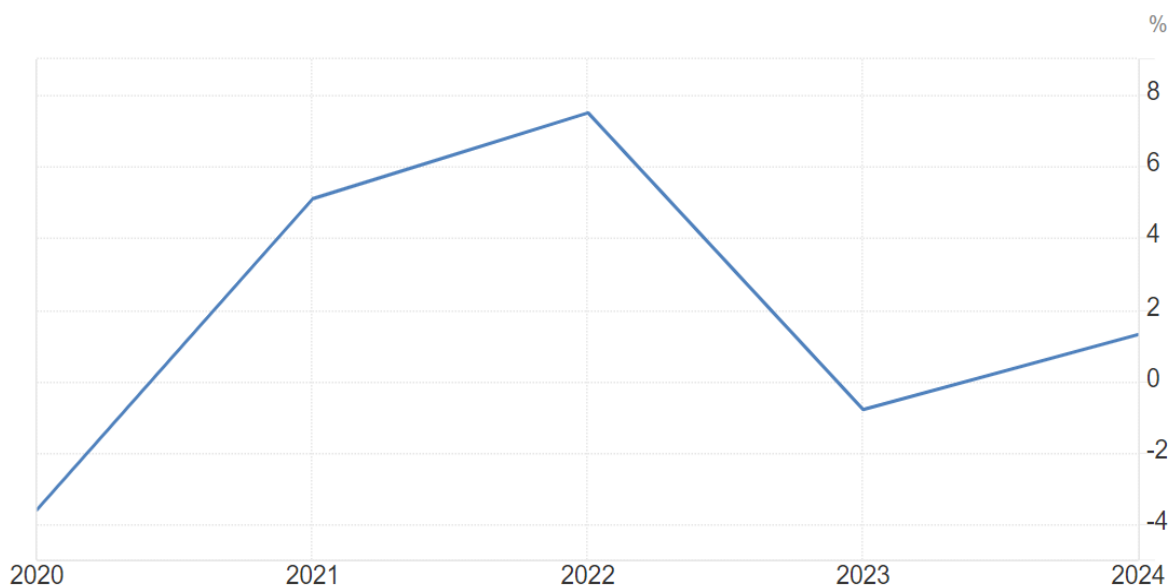
3 野心的な国家

人的資本開発、財政規律の見直し、歳入多角化の推進、ボランティア振興等

2 サウジアラビア経済

国際石油市場の安定に役割を果たしつつ、国内においては非石油部門の成長に努力。

- 経済成長率: 2022年に原油価格の高騰もあり、8.7%を実現(名目GDPが1兆ドル超え、世界17位)。2023年は-0.8%、2024年は1.3%。2025年の成長予測は、4.6%(サウジ政府)あるいは3.5%(IMF)。非石油部門は年率4.3%の成長(2025年Q1の非石油部門のGDP成長率は4.9%)。
- 失業率: 2016年の12.3%から2024年7%に低下。女性の労働参加率は33.5%、2030年の目標として40%を設定。
参照: サウジにおける人口増加率は4.5%(2022年)に上昇(サウジ人は2.2%、非サウジ人は7.9%)
- 海外からの直接投資(FDI、非ARAMCO): 23年に256億ドル(22年から50%増)。24年は230億ドル(当館計算)。(ビジョン2030では、FDIのGDPにおける割合の2030年目標値を5.7%としている。)
参照: 日本の対内FDIは23年で210億ドル。サウジの対外投資は3億ドル程度。



2 サウジアラビア経済

〈ビジョン2030の主な目標とその達成状況〉

GDP

(USD Billion)

2024
目標

955.76

2030
目標

1,732.90

2024実績 936.83

ローカルコンテンツ比率
(石油・ガス部門)

2024
目標

66%

2030
目標

75%

2024実績 65.5%

FDI対GDP割合

2024
目標

2.4%

2030
目標

5.7%

2024実績 2.4%

非石油GDP

(USD Billion)

2024
目標

694.76

2030
目標

1,325

2024実績 680.90

ローカルコンテンツ比率
(非石油部門)

2024
目標

59%

2030
目標

75%

2024実績 55.8%

失業率

2024
目標

7.8%

2030
目標

7%

2024実績

7%



◆経済関連

- GDP 9 3 6 8 億ドル
 - 非化石部門 6 8 0 9 億ドル
 - 民間部門比率 4 7 %
- ローカルコンテンツ比率
 - 石油部門 6 5 . 5 %
 - 非石油部門 5 5 . 8 %
 - 軍事産業 1 9 . 3 5 %
- PIF資産 0 . 9 4 兆ドル
- 海外からの投資額 2 5 6 億ドル
- 失業率 7 %、女性参加率 3 3 . 4 %

◆教育・福利厚生関連

- 教育：PISA 3 8 7
- 専門学校卒業者の就業率 4 7 . 8 1 %
- 大学新卒者の就業率 4 3 %
- 平均寿命 7 8 . 8 歳
- 健康保険カバー率 9 7 . 4 %
- 運動時間：青少年で 6 0 時間 1 8 . 7 %
成人で 1 5 0 時間 5 8 . 5 %

2 サウジアラビア経済(今後10年)

- 安定的な石油収入:原油価格の変動の影響を受けながらも、石油収入は基本的に安定。他方、ARAMCOは、資金調達のための社債発行を重ねている。25年は、配当金が24年の1,240億ドルから850億ドルに減額。
- 財政:赤字幅が、対GDP比4.3%に増えた。国の負債額は3,000億ドルあまり、対GDP比26%(IMF:世界的には、債務最低国の一つ)。
- 但し、非石油収支は改善。非石油産業の財政収入はサウジビジョン2030が発表された2016年から毎年増加しており、2024年には2016年の約2.5倍となる1,300億ドル(全体の40%)を超えた。
- サウジアラビアのソブリンファンド:公共投資基金(PIF)を通じて経済多角化を進める。
管理資産額は9,250億ドルに増大(世界第6位)。利益は23年の644億リヤル(約170億ドル)から24年の258億リヤル(約70億ドル)に減少。

〈大型国際行事を主催予定〉

- 2027年 Olympic Esports Games
- 2027年 AFCアジアカップ
- 2029年 アジア冬季競技大会
- 2030年 リヤド万博
- 2034年 FIFAワールドカップ

〈ギガプロジェクト〉



キッディーヤ



NEOM
THE LINE



ディルイーヤ

3 サウジアラビア外交

<基本的立場>

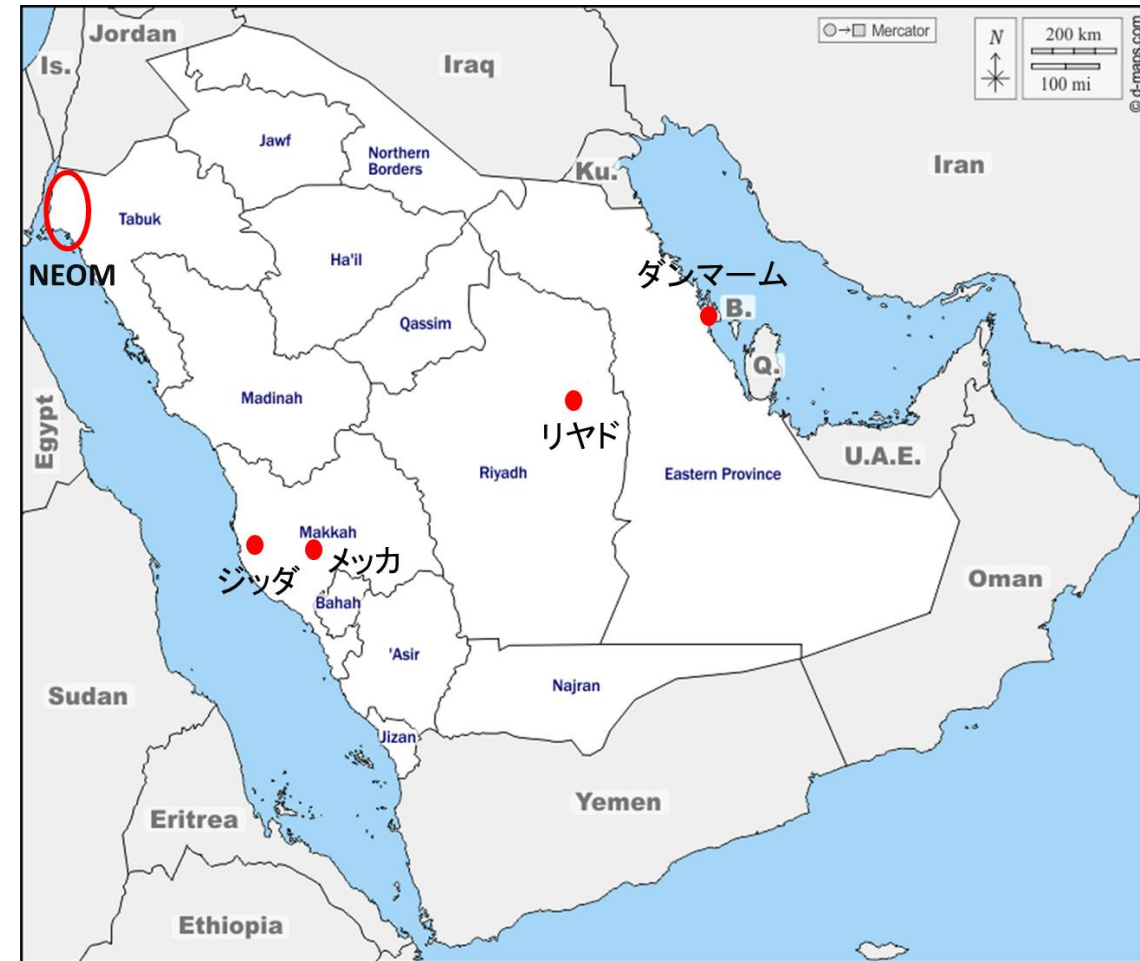
- サウジアラビアは地域の安全と安定を志向(アラブ・イスラムの盟主、G20メンバーとしての責務を果たし、国の発展のための国際環境整備を図る)【ゼロ・コンフリクト】
- 伝統的な西側とのパートナーシップ(米国との安全保障協力)
- OPEC+を通じたロシアとの関係(ウクライナとロシアの仲介を試みる)
- 中国は最大の貿易相手国(イランとの関係正常化を中国が仲介)

<パレスチナ問題に関する立場>

- イスラエルのガザ侵攻を強く非難(ハマスを支持しない)
- 二国家解決を支持
- 仏と二国家解決に関するハイレベル会合を開催(7月、9月)

<イランとの関係>

- 2025年4月にはハーリド国防大臣(次期皇太子候補の一人)がイランを訪問し、ハメネイ最高指導者らと会談。
- 同年7月には、サウジアラビアを訪問したアラグチ外相がムハンマド皇太子兼首相等と会談。
- イランの核・ミサイル開発、プロキシー(代理勢力)支援を強く懸念
- 最近のイスラエルの対イラン攻撃を非難、イランの在カタール米軍基地攻撃を非難、問題解決のための対話を支持。



4 日サウジアラビア関係（伝統的友好関係）

（1）要人往来（肩書は当時）

- 2025年5月 岩屋外務大臣のサウジアラビア訪問（外交・公用旅券保持者の査証免除に関する覚書に署名）
- 2025年2月 ファイサル・サウジ外相の訪日（戦略的パートナーシップ協議会の設立に関する覚書に署名）
- 2023年9月 林外務大臣のサウジアラビア訪問（日・サウジ外相級戦略対話設立、日・GCC外相会合の開催）
- 2023年7月 岸田総理のサウジアラビア訪問（日・GCC・FTA交渉の再開）
- 2020年1月 安倍総理のサウジアラビア訪問
- 2017年3月 サルマン国王の訪日（日・サウジ・ビジョン2030の策定）
- 2016年9月 ムハンマド副皇太子の訪日
- 1994年11月 皇太子・雅子妃両殿下のサウジアラビア御訪問



2017年3月サルマン国王の訪日

（2）外交関係

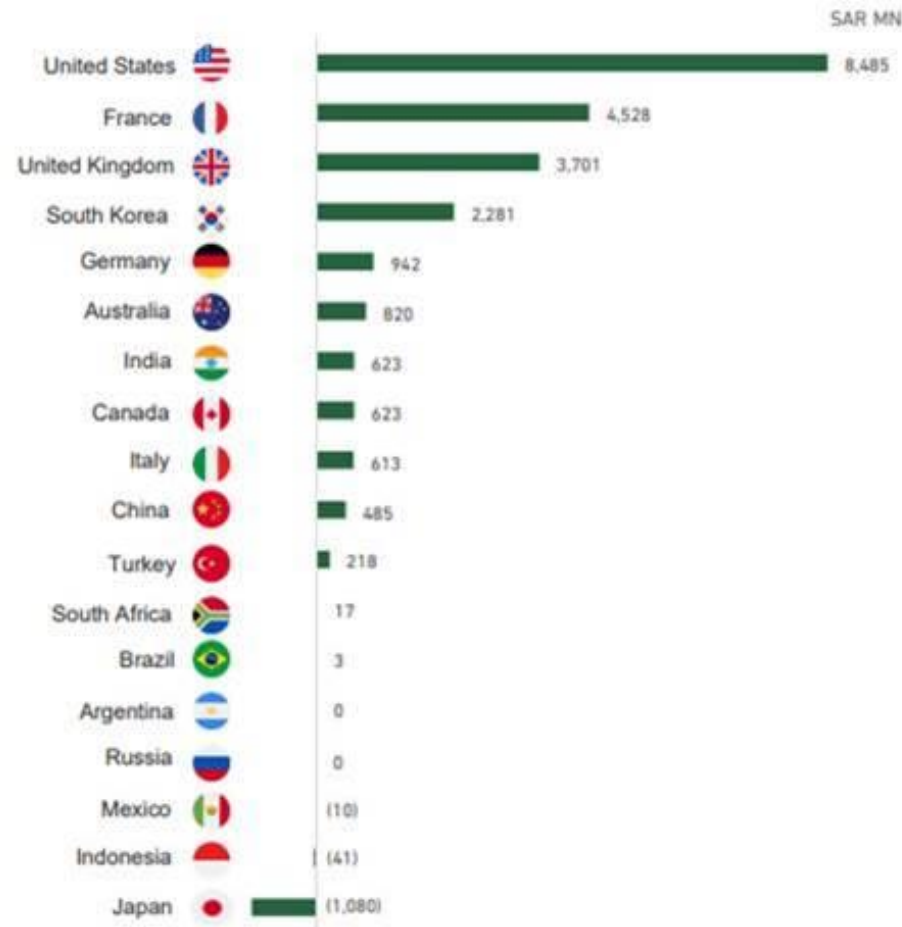
伝統的に日本はサウジアラビアを中心とする湾岸諸国から石油を輸入し、自動車等工業製品を輸出する関係を築いてきたが、近年の両国関係は多層的なものに発展を遂げてきている。政治分野では、2025年2月に日・サウジ戦略的パートナーシップ協議会が設立され、両国首脳をトップとする枠組みが成立。同時に文化分野では、外交関係樹立70周年を迎え、歌舞伎や生け花といった日本の伝統芸能を紹介するイベントを準備。経済分野でもクリーンエネルギー等二国間協力の裾野は拡大。



1994年11月 皇太子・雅子妃両殿下のサウジアラビア訪問

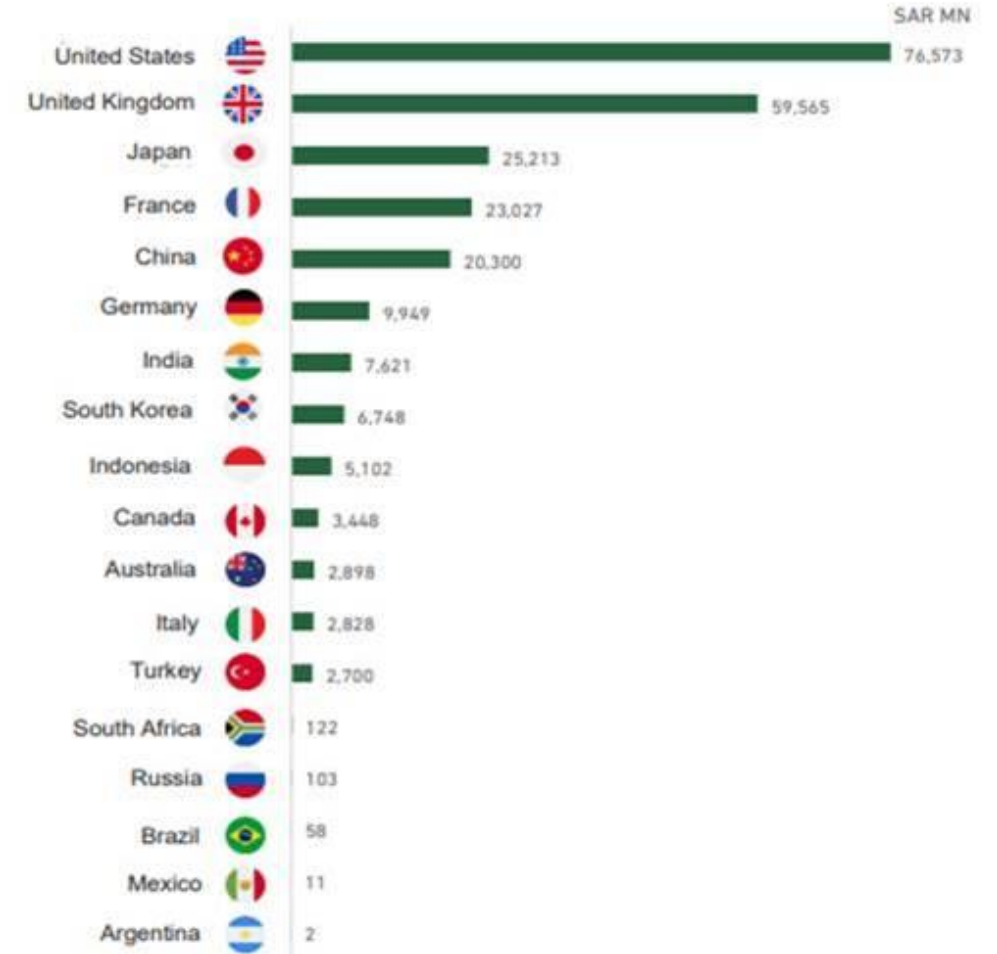
(参考) 対サウジ直接投資の統計(2022年)

4.3 Saudi Arabia FDI net inflow distribution by G20 countries in 2022



The G20 countries represent **21%** of FDI net inflow in Saudi Arabia in 2022, led by **the United States** with 8%, followed by France with 4%. The EU countries represent 65% of the total FDI net inflow in Saudi Arabia in 2022.

4.2 Saudi Arabia FDI stock distribution by G20 countries in 2022



The G20 countries represent **32%** of the FDI stock in Saudi Arabia in 2022, led by **the United States** with 10%, followed by the United Kingdom with 8%. The EU countries represent 29% of the total FDI stock in Saudi Arabia in 2022.

4 日サウジアラビア関係（新しい展開）

日サウジビジョン2030等の新たな枠組

➤ 日サウジビジョン2030

- 2016年、ムハンマド副皇太子（当時）訪日時に、従来の石油供給国・消費国という関係から、共に発展する「戦略的パートナーシップ」を目指すことに合意、2017年サルマン国王訪日時に公表。
- 3本の柱の下、エンタメ・文化などを含む9の協力分野において両国のビジネスを促進。
 - ✓ 発足以降、サウジへの投資が65社から100社に増加。協力案件が270件（うち150件が継続）
 - ✓ 協力案件がサウジアラビアのGDPにもたらした影響は累計約950億ドル規模（経済産業省試算）

➤ クリーンエネルギー協力のための日・サウジ間のライトハウスイニシアティブ

- 2023年、岸田総理（当時）サウジ訪問時に公表。
- 水素・アンモニア、e-fuel、循環型炭素経済、直接空気回収、重要鉱物、持続可能な先端材料等の分野で協力。

➤ 戦略的パートナーシップ協力（2025年2月ファイサル外相訪日時に署名）

我が国総理とサウジの皇太子（首相）が統轄して戦略的關係を推進。



2016年ムハンマド副皇太子訪日



2023年岸田首相サウジ訪問
（日サウジ首脳会談）



2025年ファイサル外相訪日
（日・サウジ外相級戦略対話）

4 日サウジアラビア関係（新しい展開）

日本ビジネスに求められる適応

- 伝統的な石油、石油化学以外の新しい分野でも関係模索
- サウジの発展と共に期待が変化
 - ・ 産業育成支援 → 規模拡大や産業のローカライゼーションへの投資、より高い技術が関わる協力を期待。
 - ・ 高い野心のレベル(求める技術の種類、規模・金額)
- 第三国(中国・韓国等)との競争
 - (中国)Aramco及びシノペック(中国石油化学化工集団)等が、中国福建省における製油所等建設。
 - (韓国)PIFとヒュンダイが、自動車製造工場を設立する合弁契約に調印。2026年生産開始予定。
- 制度面
 - ・ サウダイゼーション(サウジ人雇用比率を義務付けるもの)(SJAHI、HIPF等)
 - ・ RHQ(地域統括会社をサウジでの調達や税優遇の条件にするもの)
 - ・ 商習慣や法体系の違い

新しい機会

- 日本文化への親しみ、憧れ(伝統文化、現代文化(アニメ・ゲーム等))
- 日本への信頼感・質の高いサービスへの需要(日本車、先進技術等)
- サウジを起点とした事業、第三国支援の事業における協力(第三国での鉱物資源開発※等)



2023年12月齋藤経済産業大臣サウジ訪問

※サウジ産業鉱物資源省と経済産業省が鉱物資源分野における情報交換、人材育成、第三国協調投資などを通じた協力関係の深化を目的とした協力覚書を締結。